



JR東労組ステーションサービス協議会 申1号

11月12日開催

## 「2019年度年末手当に関する申し入れ」 団体交渉を行う!

交渉にあたり  
趣旨説明を行う!

- ・2019年度第2四半期決算は、増収・増益、営業収益は72億6,600万円と新規駅受託業務が増加することにより、昨年より8億4,900万円増加、対前年で113.2%と順調に推移している。
- ・「JESSビジョン2020」による「3つの駅づくり」の実現及び技術継承や業務改善により、「安全で働きがいのある」駅職場をめざし、日々奮闘する組合員の努力と頑張りによる結果である。

### 組合の主張

- ・営業収益は72億6,600万円と2018年度と比較して8億4,900万円増加している。
- ・台風15号・19号の異常時対応等で奮闘している組合員の努力に報いるべきである。
- ・新規受託箇所の計画は順調に推移していることから、3.0ヶ月支払う能力は十分にある。
- ・近年の訪日外国人旅行者が増加し現場第一線で業務している組合員が様々な部分で語学力向上に努め、ご利用されるお客さまにより良いサービス等を提供している。

### 会社の主張

- ・営業収益は年度初の計画通りに進捗していないものの受託箇所の拡大により前年を上回る事が出来た。日頃から現場第一線で努力をしていただいている組合員の皆様に感謝している。
- ・各駅へのパソコン増配備等に係る費用が増加している。将来にわたって当社の事業活動を支える人材投資及びインフラ整備は必要不可欠である。下期についても業務品質向上及びコストダウンに協力をお願いしたい。
- ・年末手当は第2四半期決算の状況とこれからの費用等を含め慎重に検討して回答したい。

ステーションサービス損益計算書(抜粋)

|       | 2018年度<br>第2四半期決算 | 2019年度<br>第2四半期決算 |
|-------|-------------------|-------------------|
| 営業収益  | 6,417             | 7,266             |
| 売上総利益 | 617               | 862               |
| 営業利益  | 109               | 218               |
| 経常利益  | 124               | 226               |
| 当期準利益 | 67                | 130               |

(単位:百万円)

2019.11.12 ステーションサービス  
LINE NO. 98より 抜粋

2019年度第2四半期の損益計算の結果は、  
現場で働く私たちの努力である!

インバウンド、異常時、災害対応など  
現場の苦勞に報いるために満額回答を示すべきだ!